

市民経済委員会議会報告会報告書

報告日: 令和2年2月18日

出席者	参加者	志和:8人、八本松:10人	
	議会側	玉川市民経済委員長、中川市民経済副委員長、牧尾良二委員、加根佳基委員 重森佳代子委員、片山貴志委員	
	開催日時	令和元年11月25日(志和町) 16:00～17:30 令和元年11月26日(八本松町) 16:00～17:30	
	開催場所	志和地域センター、八本松地域センター	
	議会報告	テーマ	広島中央エコパーク建設及び、ごみの分別・収集
		概要	1 議会の制度や仕組み、議会報告会の目的などの概略について説明。 2 「東広島市のゴミの分別・収集について」 3 現在、旧安芸津町を除く東広島市の一般廃棄物は、三永にある賀茂環境衛生センターで処理している。この施設では、ストーカ炉という設備で、ごみを焼却処分、つまり燃やしています。また、燃やした後に残る灰は、地中に埋めるなどの最終処分を行っている。 4 そうした中、この施設のすぐ近くに、「最終処分量ゼロに向けた新たなごみ処理システムの構築の実現」をめざして、新しく議もを溶かすことができる処理施設である「広島中央エコパーク」の建設が進んでいる。 5 今までの施設では、ごみを燃やしていたため、どうしても処理の後に「灰」が残っていた。この灰は、再利用が難しく、地中に埋めるなどの最終処分を行う必要があった。しかし、新施設では、ごみを「溶かす」ため、灰ではなく、スラグやメタルといわれるものが残ってしまう。このスラグやメタルは道路の建設に使うアスファルトや道路横の側溝に使うU字ブロック、歩道に敷く敷石ブロック、ショベルカーなどの建設機材のカウンターウェイトなどに再利用できるため、最終処分量を0にすることが可能なのではないかとされている。 6 そうした施設の建設される状況で、委員会として以下の疑問が出た。 <u>・「高性能な処理施設ならば、従来のごみの分別方法を見直せないのか」</u> 今の分別方法は、高齢者や障害をお持ちの方には、細かくて、対応するのが難しいのではないかと考えから出された疑問。 一方で、今の分別は、リサイクルやごみの減量化を目指して考えられたもので、単純になんでも溶かせばよいではないかという意見は出なかった。 ⇒委員会として、リサイクルやごみの減量化を踏まえつつ、ごみの分別を効率化することはできないか、先進地などの事例を調査することになった。 7 ごみの収集について 東広島市では高齢者や障害者を対象とした取り組みを行っている。その一つが、ふれあい収集事業。 これは、家庭ごみを地域のごみステーションに持ち出すことが困難な高齢者や障害者等を対象に、家庭ごみの戸別収集と声かけによる安否確認を行うというもの。 対象者の玄関先などに分別して出されたごみを週に1回、決まった曜日(月曜日～金曜日)に無料で収集する。 希望に応じて収集の際に声掛けによる安否確認を行う。 9月末時点で250世帯の方が利用されている。

実 施 内 容 報 告	議会報告	質疑	広島中央エコパークの稼働はいつなのか、又建設費はいくらなのか。
		応答	稼働は・令和 3年 10月稼働開始予定です。 建設費は・費用全体で310億円、その内施設費として200億円、周辺整備費として15億円、し尿処理施設に41億円かかっている。
		質疑	ごみの分別方法はどの様になるのか。
		応答	新施設では3Rを活かしつつ今まで埋め立てゴミとしていた物も、処理できるようになるため、新たな分別収集方法へ変えていく必要があると思われる。
	意見交換	相手方	【広島中央エコパークについて】 1・新しい施設はどこにできるのか。 2・新施設の稼働後、現在使用している施設はどうなるのか。 3・処理施設がガス化溶融炉になった経緯について。 4・ストーカー炉とガス化溶融炉のコスト比較はどうか。 5・新施設ではメタルとスラグが出来ると聞いたが、リサイクルできるのか。 6・ごみ処理施設は迷惑施設と言われているが、周辺地域への対策は出来ているのか。 7・なぜ足湯なのか、温泉施設にすれば人が集まるのでは。
		議会側	1・東広島市西条町上三永と、竹原市の境目で松子山地区。 2・現在稼働中の施設は取り壊され、更地にするところまでは決めているが、跡地については、地域住民や執行部との協議中とのこと。 3・15年くらい前で、今現在使われているストーカー炉と、ガス化溶融炉の2機種で、最終的に選ばれたのが今建設中のガス化溶融炉である。 4・ストーカー炉とガス化溶融炉では、建設コスト及び稼働経費はガス化溶融炉の方が割高となっている。また、1300度という高温でゴミを溶かすのでコークスなどの添加燃料が必要となる。一方ストーカー炉では加圧された空気を燃焼室へ供給し、850度以上で燃焼させる方式である。コークスを使用しない分コスト安である。しかしながら不燃物や主灰が排出され、最終処分場が必要となる。 5・ガス化溶融炉において、コークスを使用することにより、ゴミなどを高温で溶かし、メタルとスラグに分かれ排出される。メタルは重機や農機具等のウエイトに加工し、又、スラグはセメント二次製品や、上水道・下水道の

実 施 内 容 報 告	意見交換	議会側	クッション砂としての再利用が期待できる。 6・出来ている。周辺地域内での道路整備、鳥獣被害対策助成などが行われている。又施設では大気汚染物質が出ないような、構造にし地域周辺の土壌汚染検査や、水質検査他が行われている。 7・温泉施設とするには、建設費、維持管理費等、足湯に比べると、かなり高いものとなる。
		相手方	【ゴミの分別収集について】 1・分けることは苦にならないが、解り易い分別にしてほしい。 2・分別方法の変更によって、色々と解決できる部分も出てくると思うが、どうなのか。 3・分別の方向性の最終的な方針はもうあるのか。 4・家庭用ゴミ袋の値上げによって、ゴミの搬出量は減ったのか。 5・事業系ゴミ袋の値段と、家庭ゴミ袋の値段の差が少なすぎるのでは。 6・飲食業による企業系ゴミ(食品残差等)について伺う。 7・ごみの減量化で運転経費を減らすことが出来ると思われるが、トータルでの経費はどう変わるのか、ゴミの総量が減ればコストは安くなるのか。
		議会側	1・新型処理施設においては、かなりの部分で今まで埋め立てゴミとなっていたものが処理できる事になるので、分別についてはかなり解り易くなると思われる。 2・なんでも溶かせるので、すべて一緒に処理する事は可能だが、一気に変えることは出来ないと思う。そして3Rを推奨していることから今後、色々な意見を聞きながら、執行部と協議し、提言していきたい。 3・今までは、硬質プラスチックやガラス製品など、埋め立てゴミとしていた物を燃やせるゴミとして処理してゆく、大きさについては、どの様な出し方が良いのか、処理場の処理条件の問題もあると考える。 4・ゴミの排出量は減っている。しかし、これに慣れてくると、また増えてくるのではないかと懸念している。 5・事業系と一般家庭系のゴミ袋の値段については、議会と執行部の間で様々な機会をとらえて協議を重ねてゆく。 6・食品残差について、事業者の方や、お客さんの意識改革が必要と思われる。食品衛生組合の活動も重要で、食品残差については食品衛生組合で保健所にしっかり訴えてもらう事も必要と思う。本市では「20・20(にいまるにいまる)運動」でおいしく残さず食べ切ろう、といったキャンペーンも行っている。 7・分別の種類が多ければ多いほど、収集回数も多くなりトータルコストは高くなると思われる。人件費や燃料費など、本市において現在1日一人当たり980gだが、本市が目標としているのは850gであり、ゴミ袋の有料化も、ゴミの減量の一助になっていると思われる。
		相手方	【ふれあい収集について】 1・ふれあい収集に対する費用はいくらくらいになるのか。

実 施 内 容 報 告	意見交換	相手方	2・この制度はいつから始まったのか。 3・ふれあい収集の利用世帯数は250世帯とのことだが、少ないのでは。
		議会側	1・ふれあい収集の費用は、1,600万円必要である。 今後もっと増加してくると思うが誰もが受けられるわけではない。 (申請をし、審査を受けて認められる事が必要。) 全ての要望に応えることができないのが現状。 2・この制度はゴミ袋の有料化とともに始まった制度です。 喜ばれているサービスだが、財源が限られているので、執行部と議会で協議を重ねていく必要がある。 3・ふれあい収集世帯数については、高齢者世帯及びゴミステーションにゴミを持っていくのが困難な人などそのほか要件に適合された世帯数が250世帯という事で、将来的にはまだまだ増える。
		相手方	【マイクロプラスチックについて】 1・最近話題となっているマイクロプラスチックの取り扱いについてどう考えているのか、また、議論の対象とはならないのか。
		議会側	1・マイクロプラスチック汚染については、ゴミの収集を徹底してしてやらないといけない。特に被害を受けるのが漁業者である。また、マイクロプラスチックを魚が食べて、その魚を我々人間が食べると体内に蓄積され体調を壊す事になる。発泡スチロールやビニール容器などが、劣化するとマイクロプラスチックとなり海に流れ出て海中を漂っている。 そのため、最近はビニール・発泡スチロールの容器などはやめて、紙の容器に代わりつつあり、我々も、しっかり取り組んでいかないといけない課題と認識している。
		相手方	【ゴミステーション設置について】 1・現在住んでいる団地で、新しいゴミステーションを置くところがない。道路にも置けず、集会所にはあるものの、遠すぎて皆車で持っていっている。通り道にあるゴミステーションには、近隣住民以外の方が捨てられている問題がある。ゴミステーションを増やそうと市役所と協議をしたが、OKがでず、既存のゴミステーションを拡大することが決まった。市としてゴミステーションを新たに設置することができないのか。
		議会側	1・ゴミステーション設置は場所と共に、収集業者の車両展開等の問題もある。団地を造成する時に考えていく必要がある。また行政による指導チェックも必要であると考え。
	要望・提言等	◎基本的にはゴミを出さないことが一番よいと考える。それぞれの地域において出来ること、たとえば資源ごみの回収などで、これには地域住民の協力が必要である。 ◎折りたたみタイプのごみステーションなら、一時占有となるのか。広島市では8割が違反していると新聞に書いてあった。折りたたみ式ゴミステーションが設置できれば便利になると思われる。 ◎このような討論をする機会があるのは良い事である。集客するにはやはり自治会長の口コミによるところが大切ではないか。	
	その他 特記事項		